

(一社) 東京都トラック協会青年部・(一社) 大阪府トラック協会青年部会  
意見交換会 実施報告

1. 日時 平成29年7月22日(土)
2. 場所 「大成閣」(大阪区中央区)
3. 参加人数 東京: 14名 大阪: 19名
4. 内容

(1) 大阪の田中副部会長が司会を務め、開会の挨拶を行い、大阪の谷部会長、東京の結城本部長の順で、各組織代表が挨拶を行った。

(2) 意見交換会の概要

第1部: 自社PR

※1テーブルにつき8名×4テーブルに分かれて実施。

※1人につき、各社紹介3分、質疑2分で全員行う。なお、各社紹介は事前に提出して頂いた「自社PR表」をもとに実施。



## ※テーマは「デザイン思考」

○「デザイン思考」とは何か。（「人」に焦点を当てる。）

- ・東京・大阪の有志の方がアメリカのシリコンバレーに視察に行った際に学んだ思考法。
- ・シリコンバレーでは、与えられた問題に対して答えを見つけ出すことではなく、「問題」自体（社会＝人が何を求めているのか）を考えて見つけ出し、新しいことを生み出していくという思考法をとっている。
- ・ネット社会等により、良くも悪くも問題の答えを見つけることは、簡単になってきているが、問題提起は、物事の本質を捉えていないとできない。

（アメリカのGE社が「デザイン思考」を用いて、MRIに入るのが怖い子供達のために開発されたもの。全体としてアニメ的なデザイン。）



○グループディスカッション（「デザイン思考」を学ぶ）

①まずは、問題点を「共感」する。

- ・現在、各社で抱えている問題点（従業員、お客さん等）をポストイットに書く。1項目につき1枚に書く。（3分間）

※問題のテーマは、労務管理、人材育成、安全の取り組み・・・等で、「人」に焦点を当てる。

- ・ポストイットを大きな用紙に貼っていき、それを見ながら意見交換し、問題点を共感する。共感なので、互いの意見を否定しない。(5分間)



②ペルソナ（①を踏まえた具体的な人物像）を設定し、グループごとに発表。

- ・共感した問題点を踏まえて、悩みを抱えている具体的な人物像（職場に不満を抱えている従業員等）を設定し、絵を入れながら、大きな用紙に書く。  
(絵を入れることでイメージを明確化)
- ・家族構成や仕事、趣味、夢など、個人に関わる具体的なことを書く。
- ・そして、その人が何を言っているのか、何をしているか、何を考えているか、何を感じているか (Say, do, think, feel) を書く。



③解決策を共感する。

- ・ペルソナが抱える問題をどうすれば解決できるかについて、①と同様に、各自が解決策をポストイットに書き、グループ内で共感する。

④6コマまんがを作り、グループごとに発表

- ・ペルソナが最終的にハッピーになるようにストーリーを描く。



○まとめ（なぜこの意見交換会を行ったか。）

①大阪の坂中相談役

- ・シリコンバレーでは商品を生み出すスピードが速く、今回作ったような6コマまんがが商品の試作品となっている。（テクノロジーより思考の速さが特徴）
- ・考え方のツールとして使えるのでは。

②東京の笠原前本部長

- ・お客さんからの要望に応えるのみで止まるのではなく、現在、表に出てきていない問題点を想像し、望んでいる以上のことを実践することが大事なのは。（仕事のやりがいにもつながってくる。）

○意見交換会終了後、懇親会を開催

